



亀中だより

No.10 令和3年6月30日 文責：岡田



“手づくり修学旅行”伊勢志摩の旅!

6月22日～24日、3年生が修学旅行に行ってきました。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、約1か月の延期と目的地変更という苦難もありました。しかし3年生と学年教職員は現実を受け止め、その中に「工夫と努力」を行うことで見事に修学旅行を成功させてくれました。心配されたお天気も三日間傘を開くこともなく、体験活動やスペイン村には夏を先取りしたかのような梅雨の晴れ間がありました。

初日は伊勢神宮とおかげ横丁の散策、その後伊勢スポーツの杜体育館へ移動して、学年レクリエーションを行いました。コロナ禍ならではのプログラムですが、全員が協力して、汗を流しました。宿舎は二泊とも鳥羽グランドホテル。静かな小浜湾を望む高台のホテルでした。

二日目は、鳥羽水族館のあと、2グループに分かれての体験学習でした。シーカヤックと真珠アクセサリーづくり。ともに伊勢志摩らしい活動でした。

最終日はスペイン村です。朝食時には少し疲れの見えた生徒たちも見違えるように元気!来園者も少なく、同じアトラクションに何度も乗るなど、待ち時間も少なく、たっぷりと自由時間を堪能したようです。旅行中には、体調を崩したり、ケガをしたりする生徒もいましたが、そのたびに皆で助け合って、無事に亀山へ帰ってくることができました。



テーマは“じりつ”達成できましたか?

この修学旅行での学年目標は「じりつ」でした。3年生のみなさん、じりつと聞いて頭に浮かぶ文字は、「自立」「自律」とどちらでしょうか。「自立」とは、「他からの支配や助力を受けずに、存在すること」、「自律」とは、「自分自身で立てた規範に従って行動すること」とされています。中学生のみなさんに限らず、我々大人でも他からの助力なしに生きていくことはとても難しく、自分自身で立てた規範に従って行動することならば、できると感じるかもしれませんね。

しかしながらこの“規範”も「社会生活の中での行動や判断の基準や手本」と考えるとそれを自ら立てることは結構ハードルが高いですし、それを実行していくことも容易ではありません。旅行中もいろいろな場面で、“じりつ”を求められることがありました。とてもいい経験となったことでしょう。今後の学校のみならず、社会生活の場でもいかしてほしいものです。